



Day Surgery & Dermatology D.CLINIC



20代女性にも増加。脚の静脈が浮き出る

# 下肢静脈瘤 は 日帰り手術で完治

質の高い総合医療を目指し、  
大学病院や総合病院に負けない  
技術と設備を有する

『北青山Dクリニック』  
ここでは、下肢静脈瘤の  
最新治療が受けられる。

高レベルの治療が受けられる  
独自のコンセプトで注目

ここは、外科、内科、皮膚科、美容皮膚科、婦人科、小児科、レーザー治療科を診療科目とする総合クリニックだが、驚くのはその設備。カゼやねんどといった日常的

な病気やケガの治療はもちろんのこと、心筋梗塞や脳卒中、ガンなど、直接命にかかわる重大な疾患まで対応できる最新鋭の設備が整っているのだ。

「クリニック名のDは、日帰り手術・予防医学・美容皮膚科の英語名に共通する頭文字をとったもの。大学病院や総合病院並みの設備と技術を持ったクリニックが、もっと身近にあってもいいんじゃないか」と思ったのが始まりです」

と、院長の阿保義久先生。血管外



超音波画像診断装置で、脚の静脈の状態を診る。佐藤圭矢子隊員は、下肢静脈瘤ではないとわかり、ホッとひと安心。「立ち仕事の間はこちらでも処方している医療用の弾性ストッキングをはくと、むくみの防止に役立ちますよ」

科 消化器内科、脳神経外科、循環器内科  
皮膚科（女医）、婦人科（女医）、形成外科  
の専門医がそろい、高度な人間ドックや脳ドック、さらに婦人科ドックも受けられる新しいコンセプトのクリニックだ。

「最初に体調がちょっと変だと感じた時点で、しっかりと検査や高度な初期治療を施しておけば、重大な病気でも早期発見・早期治療が行えます。そうすれば治療期間も短くなるし、医療費も少なくて済みます」という話には、心の底から納得。

そのほか、アメリカではポピュラーな日帰り手術を実施していることでも注目されている。

驚いたのは、内視鏡による早期ガンの治療まで日帰りできること。いままでは1〜2週間も入院しなければならなかった下肢静脈瘤の手術も、日帰りで行っている。

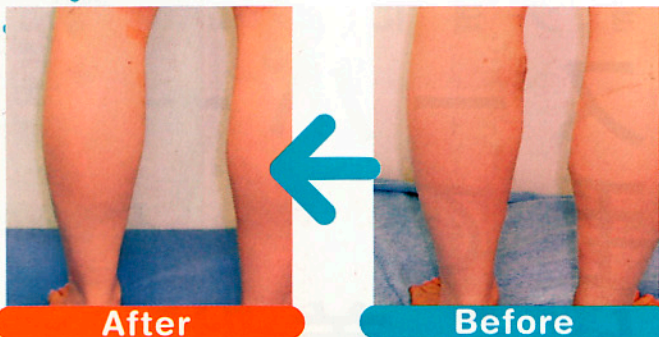
**北青山  
Dクリニック**  
03-5411-3555

**DATA**  
東京都渋谷区神宮前3-7-10  
AKERAビルB1F  
(地下鉄外苑前駅徒歩4分)  
(ホームページ)  
<http://www.dsurgery.com>  
(診療時間) 月～金 9:00～20:00、土 9:00～18:00、  
(休日) 日曜は美容皮膚科診療のみ (要予約)





若くても安心できない!  
下肢静脈瘤は20代にも

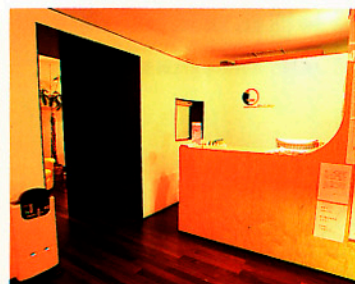


33歳の女性の手術例。静脈が盛り上がり、はつきり瘤ができていたのがわかるほどだったが、硬化療法により、1か月でここまで回復した。出産や立ち仕事など、静脈瘤発症の危険因子がある場合、その発症率は80%にも及ぶとされている。

下肢静脈瘤は、立ち仕事や運動不足などが原因で静脈の弁がこわれ、本来は上(心臓)に向かって流れるべき静脈内の血液が下に向かって流れてしまい、血管内にたまったもの。脚のつけ根やひざの裏は、静脈の弁がこわれやすく、悪化すると皮膚の表面に血管が盛り上がってきてしまう。

「脚がひどくむくんだり、よくつる、かゆみがある、脚に湿疹や皮膚炎がでやすいなどの症状がある人は、一度検査してみたいほうがいいですね。超音波画像診断装置ですぐにわかりますから」

冷え性でむくみもひどい佐藤亜矢子隊員



医師の人数が圧倒的に多い。健康と美容の両面のかかりつけ医として頼りにしている患者が多い。各分野の専門医・女医がそろっているので、多角的なチェックが受けられるのも心強い。

が見てもらったところ、幸い静脈瘤の兆候はなし。でも、女性はなりやすいので自衛策が必要だと阿保先生。

「細かく見ていくと、気になる血管の浮きがあります。気をつけないと、瘤化する可能性は十分ありますね。圧迫性のあるストッキングをはくと、かなり予防効果があります。それには、圧力が倍くらい違う医療用のものを選んでください」

静脈は伸びたり縮んだりしやすいので、圧迫しただけで血流が早くなり、心臓に戻る力が与えられない。一般のサポートストッキングは圧力が弱いので、その効果が半減するのだ。悪化した下肢静脈瘤にはストリッピングと呼ばれる手術を施す。これは、病的な血管を取り除き、正常な血液の流れに戻すもの。



阿保義久先生/あば・よしひさ  
東京大学医学部卒。専門は血管外科・消化器外科。

軽いものなら  
レーザー療法も有効

「静脈瘤でも、網目状やクモの巣状に血管が透けて見える程度の軽いものなら、レーザー療法を選択することも。そのほか、セカンド・ベストの選択といえる硬化療法も日帰りが可能です」

硬化療法は、瘤になつて機能しなくなった部分の血管を硬化剤で退化させ、別の静脈に血管が流れ

最近開発された覚醒の早い麻酔を用いたり、縫合法を工夫することにより、日帰り手術が可能になった。

「一番多いのは40代、50代の女性ですけど、最近では20代の女性にも増えてきています。遺伝的な要素も多分にあるので、お母様に静脈瘤ができておられると、娘さんも遅かれ早かれなる可能性が高いですね」

盛り上がるほど悪化した静脈瘤をほおっておくと、色素沈着を起こしたり、血栓ができて痛みが出る、皮膚に潰瘍ができるなどのトラブルに。

「どんな病気でも同じことがいえませんが、何よりも大切なのは軽いうちに治療すること。脚の表面に青い血管が浮き出している人は、早めにチェックしたほうがいいですよ」

**ここがポイント!**

**脚に対する認識が新たに。総合クリニックだから安心して何でも相談しよう。**

「下肢静脈瘤じゃないとわかってホッとしたけど、すぐに医療用の弾性ストッキングを処方してもらおう。総合クリニックなので美容や健康が1カ所ですべて相談できるのがいいですね。美容皮膚診療も充実していて、婦人科ドック、ブライダルドックもあるので、女性にはさらに安心してできるクリニックだわ!」(佐藤亜矢子)

「下肢静脈瘤は入院が必要なほど重篤な病気ではありません。軽いものなら1時間ほどの手術ですみ、健康保険が適用されます。でもやはり病気ですから、その認識を持つてほしいですね」

「下肢静脈瘤は入院が必要なほど重篤な病気が残らず、身体への負担が軽い処置だと見える。

医師たちの平均年齢は35歳。各専門分野のスペシャリストがそろっていて、高度な人間ドックや脳ドックも可能。医師だけでなく、ほかのスタッフも含めた全員のチームワークのよさが、このクリニックを支えているように。